

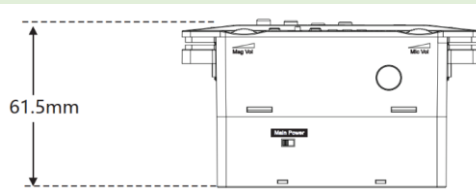
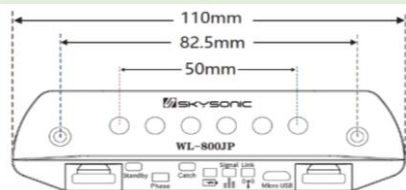
SKYSONIC WL-800JP Wireless Pickup

WL-800JPは、マグネチックピックアップとコンデンサーマイクをミックスし、高品位なサウンドをワイヤレス出力する省電力ワイヤレスシステムです。音質を重視したUHFバンド800MHz B帯を使用し、本体（送信機）と受信機の距離を、直線距離約10m前後で使用されることを前提に設計されています。ライブ会場で便利な位相反転スイッチも搭載。フル充電時4～6時間連続使用可能。推奨取付サウンドホールサイズ：90-105mm。

Package／商品内容物

ピックアップ本体（送信機）、ワイヤレス受信機、充電コード2本、六角レンチ、マニュアル兼保証書

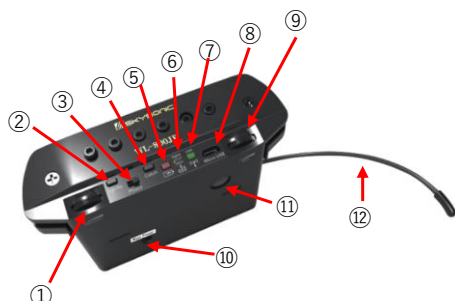
Product's size／製品サイズ



【重量】 送信機：150g
受信機：56g

Function description／各部名称

【本体・送信機】



- ① マグネチック・ピックアップ・ボリューム。（①マグと⑨マイクのボリュームは独立動作）
- ② Standbyボタン。主に受信機とのペアリング設定時に使用します。
- ③ Phaseスイッチ。位相の切替によりハウリングの回避やアンプ使用時の音量の増加などの効果があります。
- ④ Catchボタン。周波数の移行と受信機とのペアリング設定に使用します。
- ⑤ バッテリーランプ。充電中点灯し完了すると暗くなります。充電時は必ず⑩MainPowerスイッチをオフにしてください。
- ⑥ Signalランプ。送信シグナル（音量）が大きい時に点灯します。
- ⑦ 送信機側Linkランプ。受信機とのペアリングが完成していると点灯します。
- ⑧ 本体バッテリー充電ケーブル差込口。
- ⑨ コンデンサーマイク・ボリューム。
- ⑩ MainPowerオンオフスイッチ。つまみが右で電源オン、左が電源オフです。
- ⑪ コンデンサーマイク
- ⑫ アンテナ
- ⑬ 受信機バッテリー充電ケーブル差込口。
- ⑭ 受信機電源ボタン。オフにする時は3秒間長押ししてください。
- ⑮ 充電ランプ。充電中点灯します。充電が完了するとランプは暗くなります。
- ⑯ 電源ランプ。電源が入っているとき点灯します。
- ⑰ 受信機側Linkランプ。送信機とペアリング完了時に点灯します。

【受信機】



Note／注意事項

- ※ ラッカー等デリケートな塗装のギターに長時間取り付けしていると、塗装にダメージを与える場合がございます。ご注意ください。
- ※ 長期間使用しない場合は必ずMainPowerを切って保管してください。また、**3か月に1度を目安に充電**してください。長期間の自然放電はバッテリー容量の低下を招いてしまい、戻らなくなる場合があります。



落下破損に注意



水濡れに注意



電源は切って保管

Spec／性能

周波数特性	30Hz-20kHz
送受信周波数	806MHz～809MHz
発振方式	水晶制御PLLシンセサイザー
電波形式	F3E
空中線電力	10mW
全高調波歪	0.05%
有効距離	10m（遮蔽物のない状態で）
推奨使用気温	5℃～40℃
電池	（送信機受信機いずれも）3.7Vリチウム充電電池
インピーダンス	（入力出力いずれも）600Ω

Catch チャンネル	周波数
1	806.0MHz
2	806.5MHz
3	807.0MHz
4	807.5MHz
5	808.0MHz
6	808.5MHz
7	809.0MHz
8	809.5MHz

How to use／ご使用方法

ワイヤレス接続の方法について

初めてご使用される時は、まずピックアップ本体MainPowerスイッチ（⑩）を右に動かしONにします。その後受信機の電源（⑭）を入れてください。本体送信機と受信機の電源が入り有効状態になりますと、Linkランプ（⑦と⑰）が点灯します。通常はこれでペアリングされてすぐに使用可能です。

Linkランプ（⑦と⑰）が消えていて音が出ないという場合は、送信機と受信機のペアリングが切れている可能性があります。以下の方法でペアリング設定を行ってください。※通常この作業は必要ありません。

「ペアリング手順」

- 1 本体（送信機）と受信機、共に電源をオフにします
- 2 先に本体（送信機）のMain Power⑩をONにしてStandbyボタン②を2秒長押しし、Linkランプ⑦を消灯させます
- 3 本体（送信機）のCatch ボタン④を押しながら、同時にStandbyボタン②を押し、Linkランプ⑦が点滅したら手を放します
- 4 受信機の電源⑭を入れると、Linkランプ⑰が同期し、1回（または3回）点滅して消灯します
- 5 本体（送信機）のCatch④を押し、送信機、受信機両方のLinkランプ（⑦と⑰）が常灯するとペアリング完了です

「WL-800JPの複数機同時使用について」

- 1 海外で販売されているSKYSONIC FS-1と日本で販売されているWL-800JPは外観は似ておりますが、WL-800JPは日本の電波法に準拠しており、更に音質、性能を向上させた別の製品となります。

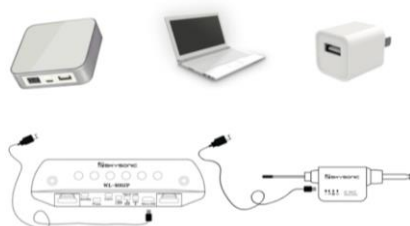
※SKYSONIC FS-1には複数台同時使用の記載がございますが、WL-800JPでは音質を重視しているため推奨しておりません。

- 2 近くで別のワイヤレス機器が使用されている場合、干渉しない周波数を以下のように選択してご使用ください。

ペアリングされている状態からCatch④を押すと、Spec内のCatchチャンネル表の範囲内でペアリング周波数が自動で移行します。

ペアリング周波数を移動する事で別のワイヤレス機種が近くで使用されている場合でも、混信を回避して使用する事が出来ます。

Recharge／充電



- ① WL-800JP（送信機）及びRC-800JP（受信機）は携帯バッテリー、PC、携帯電話用充電器などからUSBケーブルを用いて充電が可能です。
- ② 充電が完了するとバッテリーランプが暗くなります。必要以上の充電は避けてください。
- ③ 送信機、受信機共にバッテリーの残量が残り約20%になるとLinkランプが点滅を始めます。その時は早めに充電をしてお使いください。
- ④ 初めてお使いになる際、充電は100%ではありませんので、充電してからお使いください。

Radio Act／電波法について

○ 電波法について

WL-800JPは日本の電波法に合わせて製造・設計されております。電波法に違反しますと販売者ではなく使用者が罰せられ、罰金の規定があります。また、高度交通システム等との混信を起こすと非常に危険です。ワイヤレス製品は、各国の電波法に従ってお使いください。

（WL-800JPは日本国内使用を前提としております）



www.skysonic.net

さらに詳しい情報はこちらから



204-920219

保証に関するご案内

- ・ 通常使用の範囲内で生じた不具合を3年間保証いたします。
- ・ 落下などにより物理的に生じた故障は保証期間内であっても有償となる場合がございます。不明な点はお問い合わせくださいませ。
- ・ 本品を改造したり、水に濡らしたりしないでください。
- ・ 保証の適用範囲はWL-800JPに関してであり、本製品の取り付けにおいてギターに発生した不具合は保障の対象外となります。
- ・ 保証は日本国内での使用のみ有効です。

輸入元、商品問い合わせ先 日本正規代理店 スカイソニックジャパン	国内総販売元 株式会社 神田商会
www.skysonic.net	www.kandashokai.co.jp